

2023 PLAY BALL ~HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE

オープニングセレモニーに鈴木知事が出席

3月30日、北広島市で行われた「2023 PLAY BALL ~HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE オープニングセレモニー」に鈴木知事が出席し、テープカットを行いました。

テープカットと共にブルーインパルスが快晴の空へ飛び立ち、華々しいスタートとなりました。Fビレッジには、新球場「エスコンフィールド」を中核として、商業施設、温泉、宿泊施設、さらには認定こども園や農業学習施設など、様々な施設が整備されています。皆様もぜひ足をのばしてみてください。

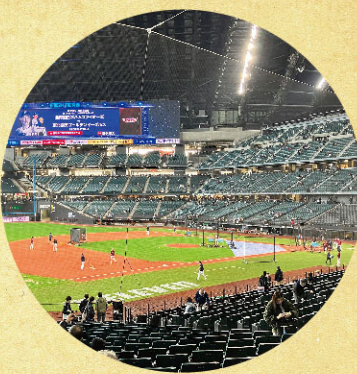


また、4月29日には再びFビレッジにてワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本代表チームの優勝に貢献した鹿部町出身の伊藤大海選手に荣誉賞特別賞を、栗山英樹監督に感謝状を鈴木知事が贈呈しました。

WBC優勝で日本中が歓喜に沸き、勇気と感動をいただいたことに、鈴木知事はお二人に改めて深く感謝を述べていました。今後の活躍も楽しみです。



鈴木直道
ファイターズ 応援



インスタ効果!? 鈴木知事の癒やしタイム

地域の皆様へと政策をお訴える道中のこと。遊説会場には多くの方々に混ざってワンちゃんがチラホラ...鈴木知事がインスタグラムで愛犬との日常を発信しているからか、愛犬を連れていらっしゃる方も多く、知事にとって思いがけない癒やしの時間となっていました。「まめちゃん(知事の愛犬)元気にお留守番してますか?」と知事の愛犬まめを気遣う方もおり、ほのぼのとした愛犬トークを楽しんでいる鈴木知事でした。



読者と交流 和気あいあい

「逆境リーダーの挑戦」トークイベント



2月に発売された鈴木知事の著書「逆境リーダーの挑戦」(PHP新書)のトークイベントが6月11日、紀伊國屋書店札幌本店で開かれ、ご家族連れなど多くの方が参加されました。イベントでは参加者の質問に鈴木知事が答えるコーナーも。「今後どんな北海道にしていきたいか」というものから、「おすすめの温泉は?」「40歳を過ぎて気を付けていることは?」などなど、鈴木知事の回答に会場が笑いに包まれる場面もありました。

参加された皆様にはサイン本をお渡しし、記念撮影も行っておりイベントは終了。和気あいあいとした楽しい時間となりました。



鈴木直道

2023
SUMMER

Report
Vol.7

[活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]
鈴木直道レポート 7号

直向きに、北海道を前へ。

ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。

多くの道民の皆様のご支持をいただき、引き続き北海道知事として道政を担わせていただくことになりました。

任期1期目の4年間、新型コロナウイルス感染症との闘いで私は、「道民の皆様の命と健康、暮らしを守る」ことを最優先に取り組んできました。同時に、コロナ禍を通じて起きた社会の変化を追い風に変えながら、経済対策、少子化対策、エネルギー問題などの課題にも挑戦してまいりました。

現在、不安定な国際情勢を背景に、北海道を取り巻く環境は激変しており、日本全体が大きな課題に直面するなか、北海道の果たす役割はますます大きくなっています。私は、「エネルギー」「デジタル」「食」の3つのキーワードを軸に、北海道のポテンシャルを最大限に発揮し、北海道の価値をさらに押し上げていくため挑戦を続けていきます。

「直向きに、北海道を前へ」という新たな決意を胸に、道民の皆様とともに歩みを進めてまいります。今後とも、皆様のお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

プロフィール/1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に就任

当選証書

価格高騰等経済対策に233億円を計上

エネルギーや食料品などの価格高騰が長期化。道民の皆様の生活、事業者の皆様の経営環境が厳しさを増すなか、新たに価格高騰等経済対策を策定し、総額233億300万円の一般会計補正予算を5月の臨時道議会で議決いただきました。これからも道民の皆様の暮らしを守り、地域経済の活性化に努めてまいります。

◎おもな価格高騰対策

LPガス利用者向け支援	1契約あたり2,000円
低所得者世帯への道独自の支援	1世帯あたり1万2,000円
飼料価格高騰の影響を受けている酪農家等支援	57.8億円
燃油価格高騰の影響を受けている漁業者支援	9.6億円



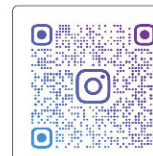
毎日更新、
140文字で
いち早く情報をお届けします



鈴木知事の
活動をじっくり
読みたい方は
こちらを!



北海道大好きな
鈴木知事の
日常を写真で
掲載しています



鈴木直道レポート 7号

〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和5年6月発行

次世代半導体を世界へ 北海道史上最大のプロジェクト！

「メイド・イン・北海道の次世代半導体を世界に届ける」
半導体開発・製造のラピダス株式会社が世界最先端半導体の研究開発・製造拠点を千歳市に決め、世界が注目するプロジェクトが進行しています。

次世代半導体の国産化に挑むラピダス社の新拠点の誘致合戦が全国で本格化するなか、千歳市や関係各位が尽力。鈴木知事も2月、東京のラピダス本社を訪問し、小池淳義社長に北海道への立地を要請しました。関係者の熱意も伝わり、ラピダス社が建設地を千歳市に決めました。

このプロジェクトの成功には地域住民の皆様の理解も欠かせません。5月には千歳市で初の説明会が開催されました。当初1千名の定員枠に多数の申し込みがあったため、追加枠も用意。当日は1400名の方が来場し、オンラインでも配信しました。熱気あふれる説明会では、小池社長が「千歳から世界へ、世界から千歳へ」という国際的な都市になることを夢見ている」と強調。鈴木知事も「一緒に挑戦していくパートナーとして、道民の皆様の理解と共感を得てスピード感をもって全力で取り組んでいきたい」と述べました。

研究開発から量産まで5兆円規模の投資総額が見込まれる**北海道史上最大のプロジェクト**。千歳市、国、関係機関と密接に連携しながら、道も支援を進めています。

デジタルインフラ強化 北海道で優先整備

デジタルインフラの重要性が高まるなか、国はデータセンターの地方分散を促進しています。5月には、北海道と九州をデジタルインフラの中核拠点として、優先的に整備を進めていく考えを表明。日本と海外をつなぐ海底通信ケーブルについても優先整備する考えを示しました。とりわけ北海道は、冷涼な気候を活かした省エネや、アメリカやヨーロッパに近いという地の利に加え、再生可能エネルギーのポテンシャルの高さが評価されました。

道では、再エネを利用したデータセンターとデジタル関連企業、デジタル人材の集積を図る「北海道データセンターパーク」を推進しています。ラピダス社が掲げる「北海道バレー構想」とも足並みをそろえ、道内市町村や経済団体と連携し、戦略的に取り組んでまいります。



ラピダス製造拠点の完成予想イメージ



- ラピダス社次世代半導体製造に向けて
- 2022年8月 ●ラピダス社設立
- 11月 ●国が700億円の支援決定
- 2023年2月 ●新製造拠点建設を千歳市に決定
- 4月 ●道が次世代半導体戦略室を新設
- 国が2600億円の追加支援決定
- 2025年 ●試作ラインを竣工予定
- 量産ラインを竣工予定
- 2025年以降 ●量産ラインを竣工予定

道内179市町村、駆け抜けた52212キロ



3月23日告示、4月9日投開票の北海道知事選。169万2436票をいただき、2期目の当選を果たすことができました。17日間におよんだ選挙戦では、高病原性鳥インフルエンザへの対応など危機管理に万全を期しながら、広大な北海道内計5212キロを駆け抜け、夫婦で全179市町村へ伺いました。

雨や雪の降る寒い日もありましたが、お集まりいただいた多くの皆様に、北海道の未来に対する私の思いと政策を聞いていただくことができました。

全道各地の道民の皆様の声をしっかりと受け止め、道政に活かしてまいります。

